

◆お名前/ご所属：久芳 さやか(クバ サヤカ) 先生 /長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科  
移植・消化器外科

◆研究テーマ：ホルモン受容体陽性 HER2 陰性転移性乳癌における一次内分泌単剤療法と  
CDK4/6 阻害剤併用療法に対する Chemotherapy free survival の非劣勢試験：多機関共同観  
察研究

◆助成金額：100 万円

#### 1：研究者になろうとしたきっかけ

我々が標準治療として行っていることは、これまでに研究者・患者さんとで積み上げてきた臨床研究の結果によるものです。現在の患者さん、そして未来の患者さんのために臨床研究を行っていききたいと思い、研究者になりました。

#### 2：助成研究の内容紹介

全国約 15 施設よりホルモン受容体陽性・HER2 陰性の転移性乳癌の症例を後方視的に集積し、一次治療として内分泌単剤療法群と CDK4/6 阻害剤併用療法群に群別し、プロペンシテイスコアを用いて患者背景を調整し、chemotherapy free survival、全生存期間を比較します。またサブグループ解析において内分泌療法単剤でも予後良好な因子を明らかにします。

#### 3：2の将来に繋がる結果予想・目標

治療効果、有害事象、コストのどれに重きをより置くか考え方は患者さんにとって大きく異なると思います。一次治療から CDK4/6 阻害剤を併用すべき症例、二次治療以降に CDK4/6 阻害剤を併用しても予後が悪くならない症例の特徴がわかれば、患者さんに応じた治療選択ができるようになると思っています。

#### 4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

この度、本研究のご支援をいただき心より感謝申し上げます。患者さんのためになる研究を続けていききたいと思っています。